

「熊谷榎特別展 紅葉の山々」会期を延長して開催しています

洋画家・熊谷守一の次女であり画家の熊谷榎氏（92歳）が、令和4年2月24日正午にご逝去されたことを偲び、熊谷榎つけちギャラリーで開催している特別展の会期を5月8日（日）まで延期しています。

- 会 期 令和4年5月8日（日）までの土日祝日
開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
- 会 場 熊谷榎つけちギャラリー（付知町4956-52 アートピア付知交芸プラザ内）
- 入 館 料 一般330円、中学生以下無料

■熊谷榎氏について

- ・1985年、熊谷守一が45年間住み続けた旧邸宅跡地（豊島区）に、個人美術館として「熊谷守一美術館」を開館。館長となる。熊谷守一の作品を常設で見られる美術館として私設で運営していたが、作品153点を豊島区へ寄贈し、2007年に「豊島区立熊谷守一美術館」となる。美術館では、熊谷守一の油絵や墨絵、書を常設展示している。
- ・中津川市が主催する熊谷守一大賞展の審査員を、第一回から歴任。自身も画家であり、守一画伯を知る一人として独自の視点から作品の選定を行なってくださった。
令和3年度、第12回熊谷守一大賞展の審査会は体調不良により欠席。
- ・「熊谷榎つけちギャラリー」の運営に関して、ギャラリー開館時から自身の絵画の提供をいただき、ご協力をいただいていた。
- ・現在開催中の「熊谷榎特別展 紅葉の山々」については、展覧会の内容決定・作品選定などを行なっていただき、新たに作品を借用して開催している。

【略歴】

- 1929年 画家・熊谷守一の次女として生まれる
- 1951年 日本女子大学卒業
- 1954年 大阪の梅田画廊で貼り絵の個展を開催
以降、世界各地の雪山を登山し、多くのスケッチや作品を描く
- 1985年 父・熊谷守一の旧居に「熊谷守一美術館」を創設
- 2007年 「豊島区立熊谷守一美術館」となる
- 2022年 享年92歳

■その他

- ・令和3年10月下旬、体調不良により入院。退院後は自宅療養にて過ごされていましたが、令和4年2月24日正午、ご自宅で亡くなられました。（豊島区立熊谷守一美術館の公表を受けての情報提供となります。）
- ・偲ぶ会を豊島区立熊谷守一美術館主催で開催予定。（開催時期未定）

お問い合わせ先

文化スポーツ部 文化振興課 文化振興係 担当者：上田
電話：0573-66-1111（内線4318）